



株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694

株主のみなさまへ

第63期 報告書 [2017年4月1日～2018年3月31日]

医療界に信頼され 選ばれる企業をめざす

目次

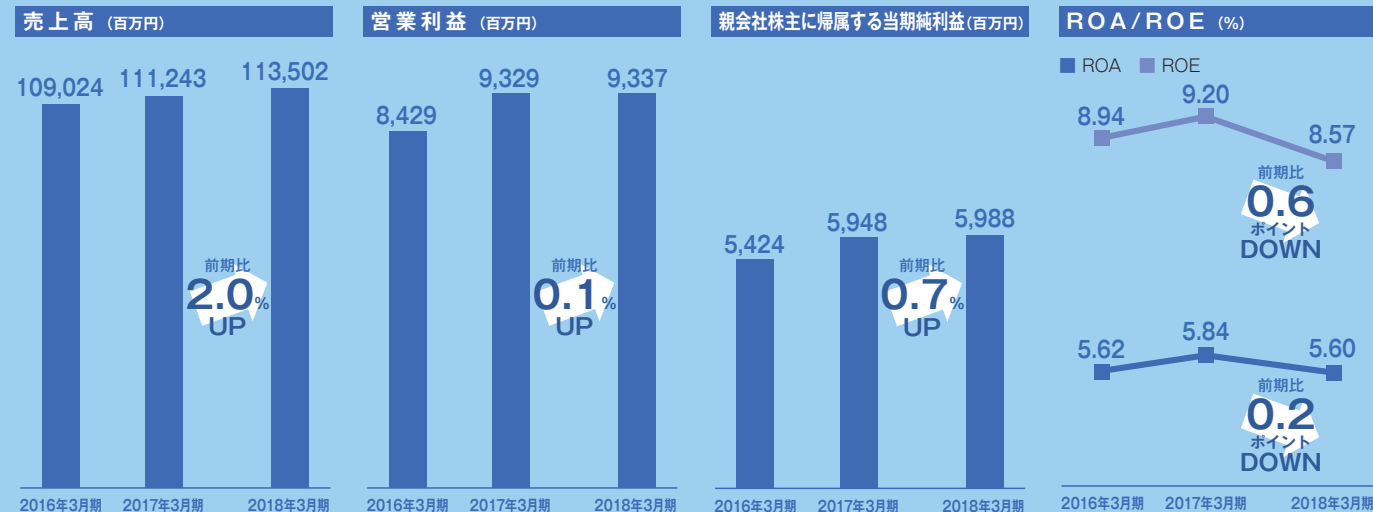
- 1 財務ハイライト
- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 5 連結決算の概要
- 7 特集
- 9 株式の状況
- 10 会社概要

株主のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第63期報告書(2017年4月1日~2018年3月31日)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。



財務ハイライト



今年度は2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引下げはなかったものの、業者間競争が一段と激しさを増していることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当連結会計年度の業績は、売上高113,502百万円(前期比2.0%増)、営業利益9,337百万円(前期比0.1%増)、経常利益9,811百万円(前期比1.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,988百万円(前期比0.7%増)となりました。売上高につきましては、激しい業者間競争が続いている経営環境の中、適正価格を維持しつつ前期比で増収を達成することができました。利益面につきましては、品質・サービスの向上のため、人的投資、設備投資を積極的に実施したことや、雇用の安定などを目的と


して、非正規従業員に対する処遇改善を実施したこと、並びに検体の運送にかかる費用等が増加しましたが、その他経費や業務の見直しを実施したことで、増益となりました。

2018年度につきましては、第7次中期経営計画の初年度にあたります。グループビジョンである「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」の成長期と位置づけており、第6次中期経営計画で取り組んでまいりました品質・サービスの向上をより一層推し進めてまいります。

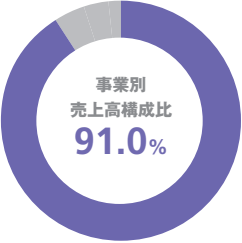
株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長 近藤 健介

営業の概況



臨床検査事業



事業別
売上高構成比
91.0%

事業内容

- **臨床検査**
- **治験検査**

ルーチンから特殊検査まで4,000項目を超える検査を実施しています。

業績
連結
売上高

103,263

百万円

101,534


2017年3月期

103,263

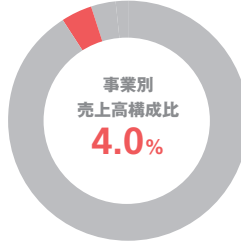
2018年3月期

前期比 **1.7% UP**

地域完結型ラボ・首都圏ラボ・血清分離ラボを活用した営業戦略を展開し、業績の拡大を図りました。



食品検査事業等



事業別
売上高構成比
4.0%

事業内容

- **食品検査**
- **食品衛生コンサルティング**
- **環境検査**

食環境の総合的な衛生管理、消費者の健康と食の安全を支援しています。

業績
連結
売上高

4,502

百万円

4,394


2017年3月期

4,502

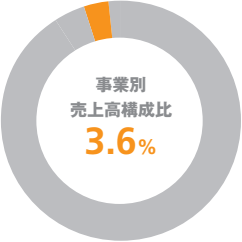
2018年3月期

前期比 **2.5% UP**

(株)BMLフード・サイエンスでノロウイルス検査、商品品質コンサルティングが堅調であったことから順調に推移いたしました。



医療情報システム事業



事業別
売上高構成比
3.6%

事業内容

- **電子カルテシステム**
- 開発・販売
- 保守サービス

診療所版電子カルテシステム「クオリス (Qualis)」と「メディカルステーション (MS)」の販売・保守を行っています。

業績
連結
売上高

4,101

百万円

3,883


2017年3月期

4,101

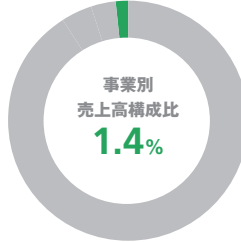
2018年3月期

前期比 **5.6% UP**

新規契約の獲得につきましては、大手販社との関係強化を実施しており、新規の販売数は過去最高を達成することができました。



その他事業



事業別
売上高構成比
1.4%

事業内容

- **調剤薬局**
- **SMO**

調剤薬局事業と高精度検査で医薬品開発をサポートしています。

※ SMO: 特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関。

業績
連結
売上高

1,635

百万円

1,430

2017年3月期

1,635

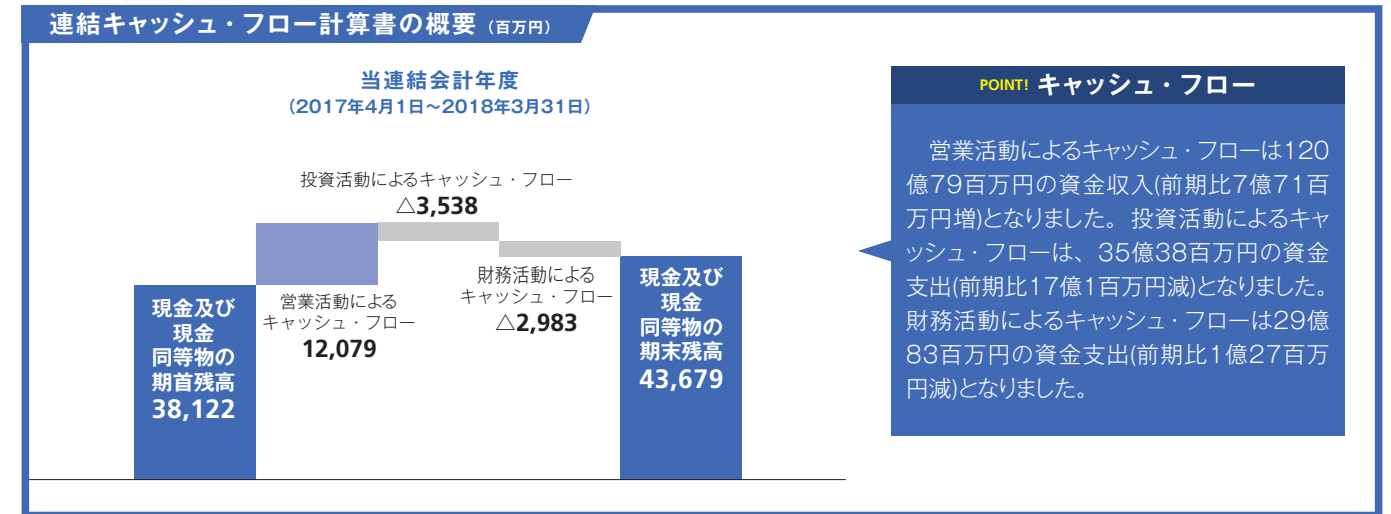
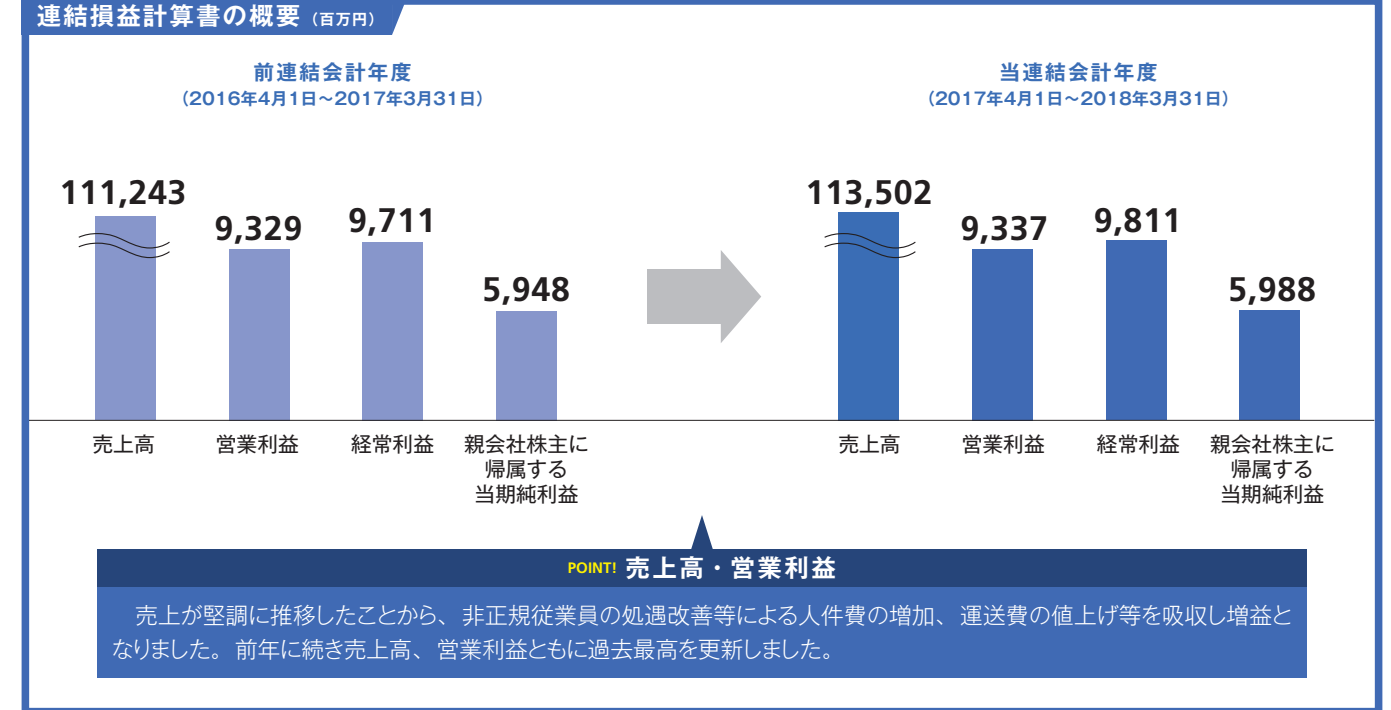
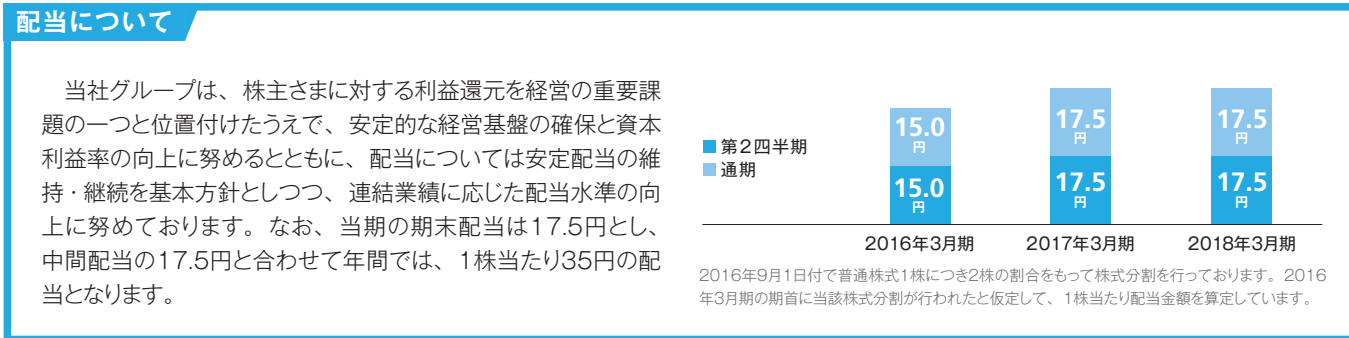
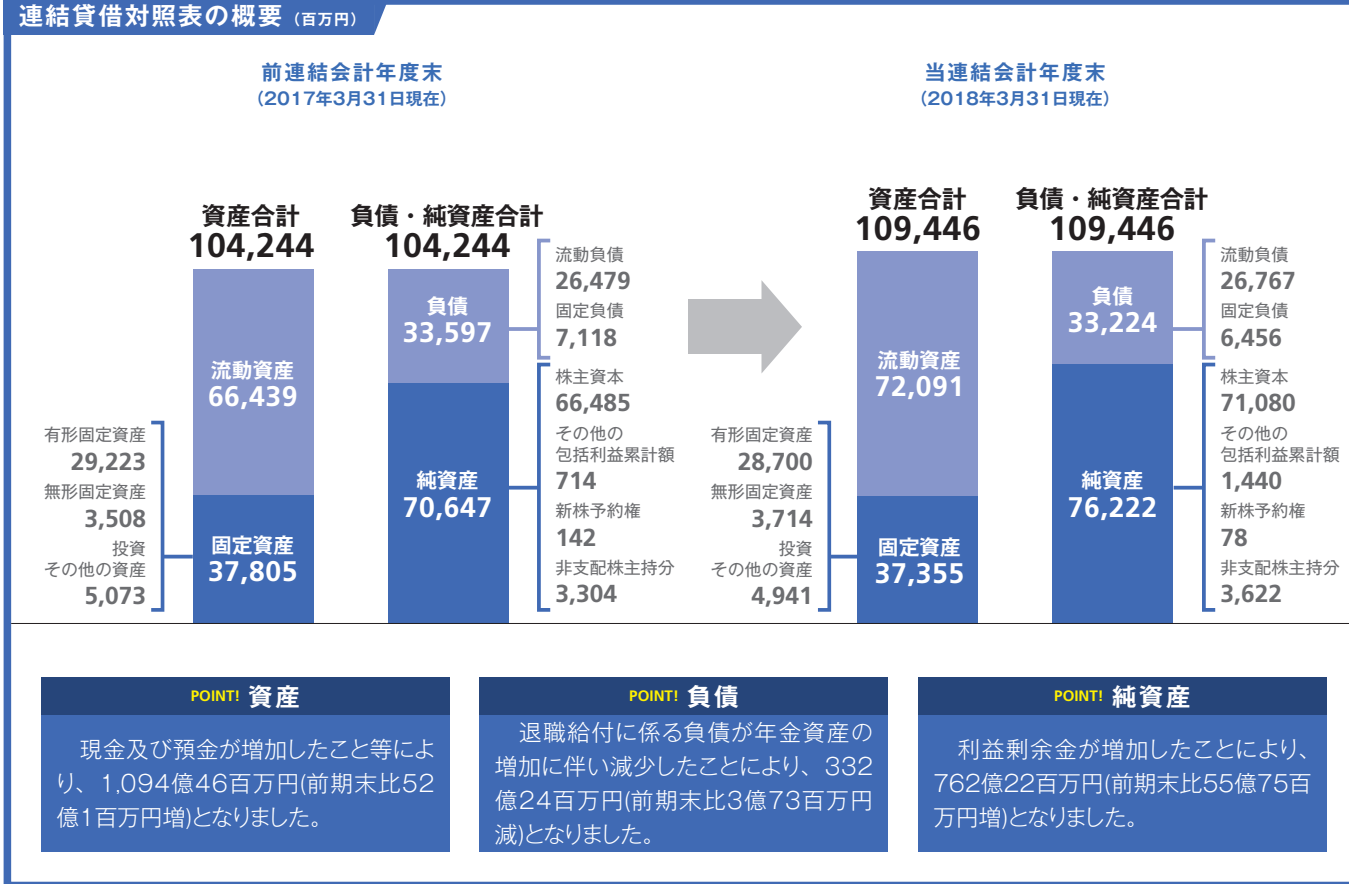
2018年3月期

前期比 **14.3% UP**

(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が、当期4月に開設しました新店舗の売上貢献で増加しました。

3

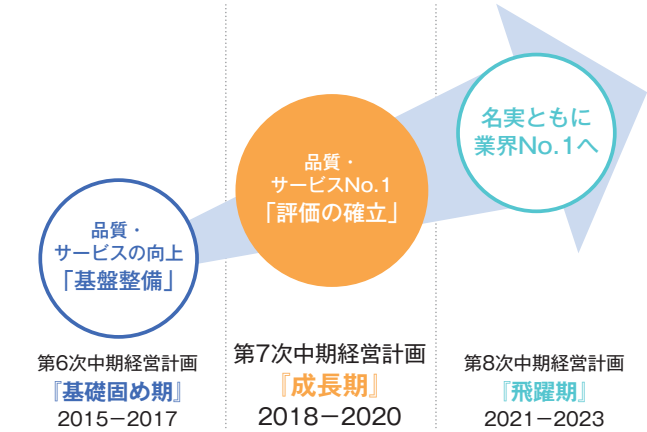
4



第7次中期経営計画について

当社は、この度、2018年度から2020年度までの3カ年を対象とする第7次中期経営計画を策定いたしました。

医療界に信頼され選ばれる企業をめざす



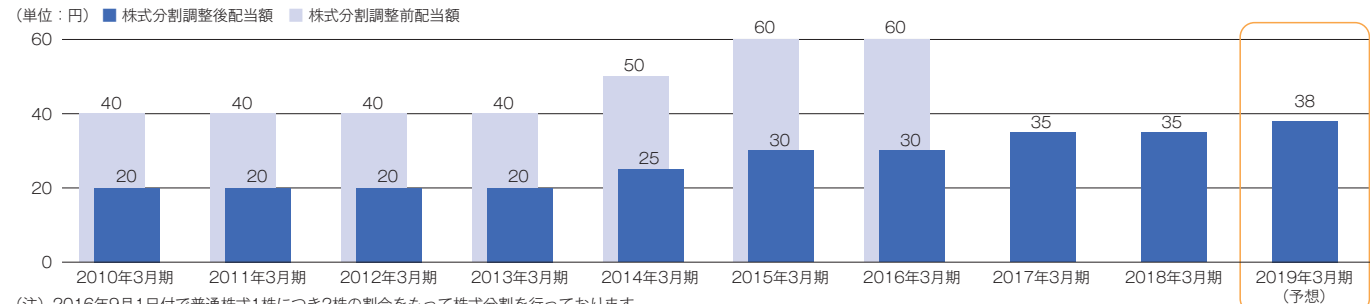
第6次中期経営計画は、「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」をグループビジョンに掲げ、「業界トップ企業としての基盤構築と強化」のコンセプトのもと、営業基盤の強化、検査基盤の拡充、システム基盤の再構築に取り組んでまいりました。またこれらを支えるものとして、特に人材基盤の充実を最重要項目とし、さまざまな施策を実施してまいりました。その結果「品質・サービスの向上」につきまして、一定の成果をあげることができました。

BMLグループでは第6次中期経営計画から始まる3期（9年間）を中長期的に一貫したグループビジョンのもと、品質・サービスの向上を目指し、事業展開をしていく予定です。従いまして、第7次中期経営計画におきましても引き続き、『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』をグループビジョンとし、この3年間で「成長期」と位置づけております。

数値目標

	2017年度				対 2017年度		
	2017年度	2018年度	増減額	増減率(%)	2020年度	増減額	増減率(%)
売上高	113,502	115,100	1,598	1.4	120,950	7,448	6.6
営業利益	9,337	9,550	213	2.3	10,750	1,413	15.1
経常利益	9,811	10,050	239	2.4	11,200	1,389	14.2
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,988	6,130	142	2.4	6,750	762	12.7

資本政策 安定配当の維持、継続を基本方針とします



(注) 2016年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

医療界に信頼され選ばれる企業をめざす

品質・サービスNo.1へ

地域サービスNo.1

地域ごとに最適なサービスを提供します



検査ラインナップNo.1

新しい検査技術を追求します

臨床検査事業

- 生化学
- 血液学
- 免疫学
- 内分泌
- 一般
- 染色体遺伝子
- 微生物
- 病理学
- 造血管疾患関連
- 高機能分析機による新検査
- 食品検査事業

医療界への貢献No.1

医療界の一員として業界の発展に貢献します

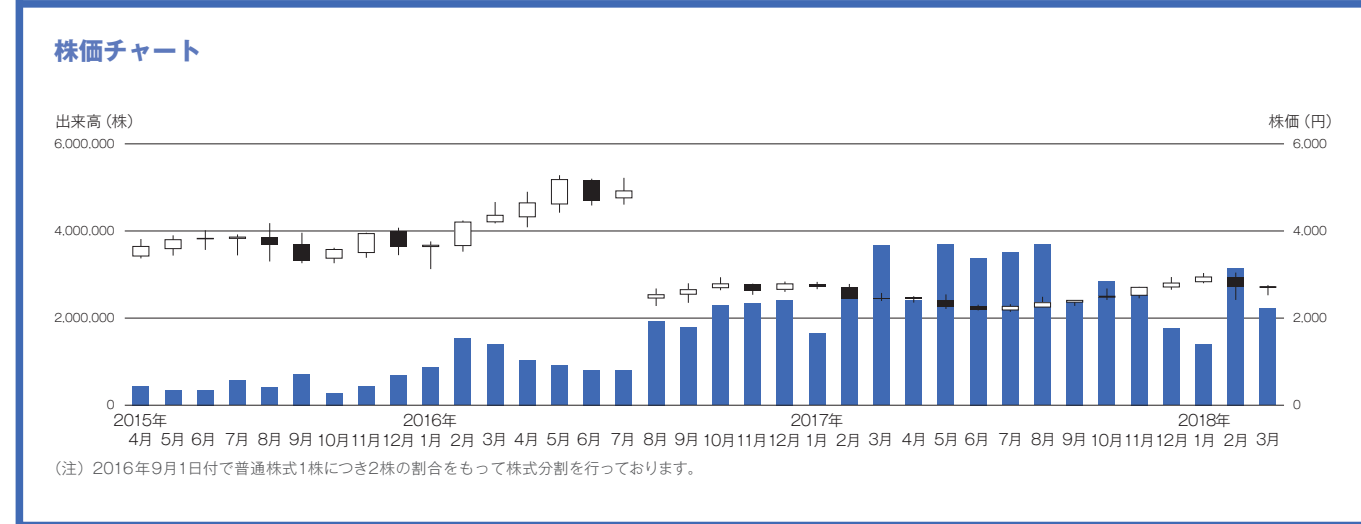
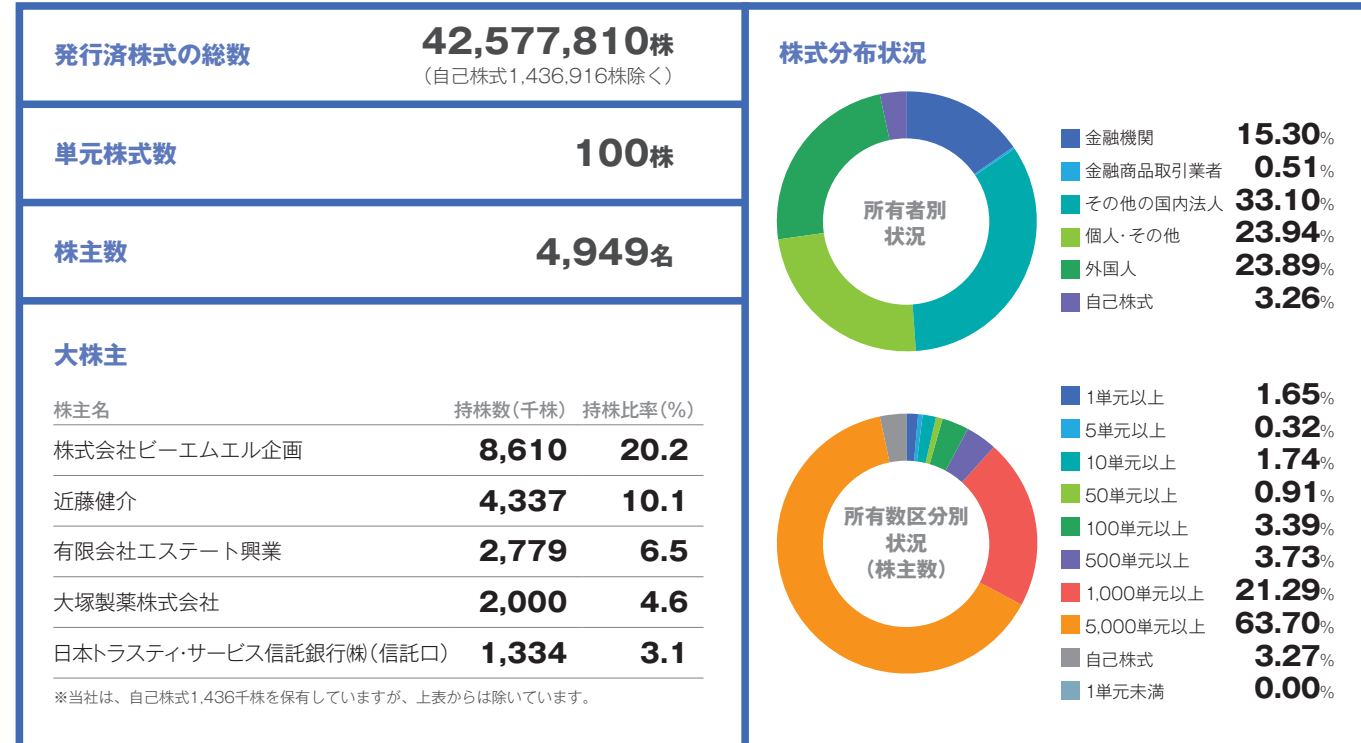


品質No.1

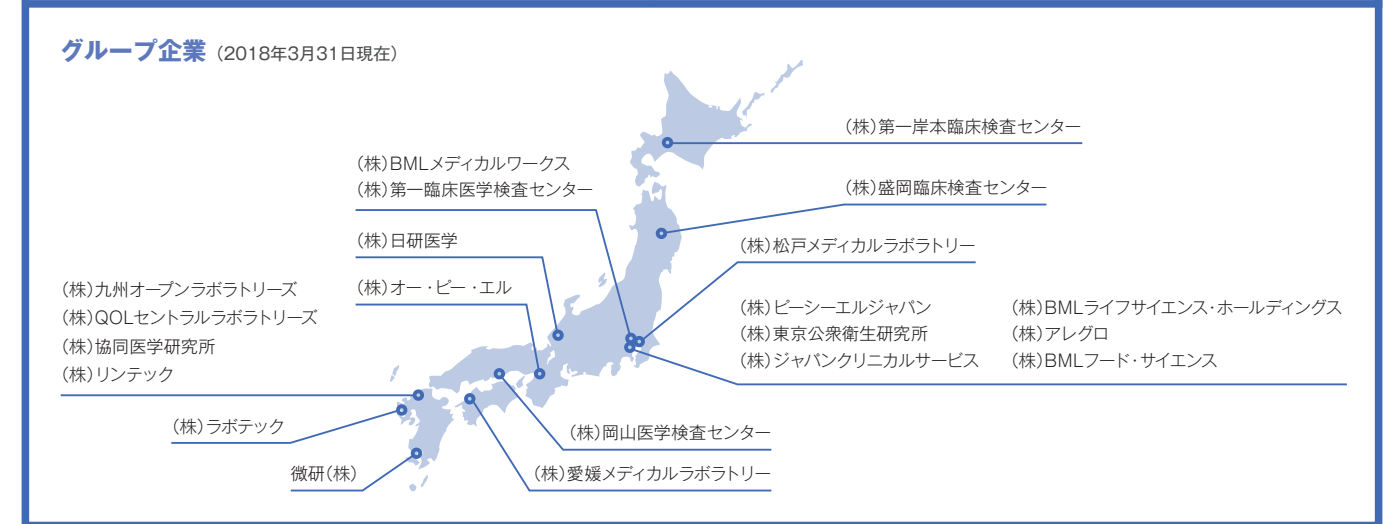
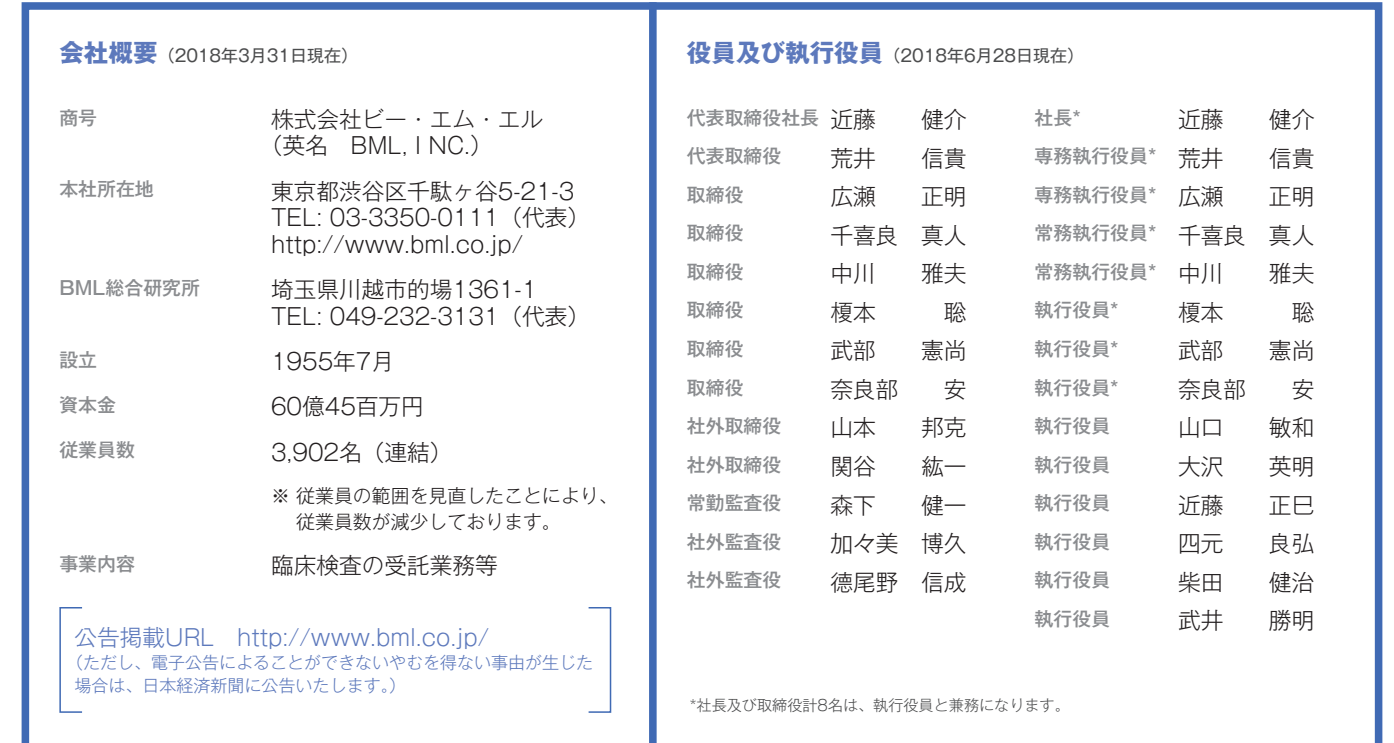
ワンランク上の品質を目指します



株式の状況 (2018年3月31日現在)



会社概要



働きやすい職場環境の構築

当社はワーク・ライフ・バランスを推進し、多様な社員が活躍できる、働きやすい職場環境の構築に取り組んでいます。

● 社員の子育て支援

社員の子育てと仕事の両立をサポートするための取り組みとして、2018年4月、BML総合研究所内に保育園を設置いたしました。



さくらんぼ保育園

● 健康経営優良法人（ホワイト500）の認定

健康経営の実践に向けたさまざまな取り組みが評価され、「健康経営優良法人（ホワイト500）」*の認定を受けました。

※ ホワイト500とは

経済産業省が2016年に創設した認定制度で、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会権利行使株主確定 3月31日
株主配当金受領株主確定 3月31日
中間配当金受領株主確定 9月30日

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
(〒103-8202)
株式お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。
URL <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(※)にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行(※)へお申出ください。
- (※) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・郵便物送付先)

日本証券代行株式会社
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8620)
0120-707-843 (フリーダイヤル)